

(第3種郵便物認可)

ルアザラシは、子どもたちに大人気。いずれも草津市の琵琶湖博物館で（上は4月撮影）

否決前提に市長コラム

近江八幡市 庁舎条例案 広報紙を市民団体批判

近江八幡市が現庁舎敷地内で計画する新庁舎整備に関し、費用が高額だと反対する市民団体「市民が考える庁舎の会」は三日、八月一日発行の市広報紙を問題視する声明を発表した。広報紙は、計画の是非を問う住民投票条例案の否決を前提とした富士谷英正市長のコラムを掲載。市議会での議決前に一部の市

民の目に触れていた。市秘書広報課によると、月二回発行する広報紙は、発行日までに各家庭に届くよう、三日前に市内十学区のコミュニティセンターに送り、自治会長らに配布される。八月一日号は休日の関係で、七月二十八日に届けられたが、その日は条例案の審議日だった。庁舎の会は、議決結

果を待たずにコラムを書き、印刷も済ませるのは議会軽視だとして富士谷市長を批判。小西理代表は、「民主主義の根っこに関わる問題」と語った。今井良治秘書広報課長は、早期に配布差し止め指示を出すべきだったとした上で、「予定稿として、内容に問題は無い」と説明。庁舎の会が問題視する富

オ	10
	20
	30
	40
	50
	60
	70
	80
	90

士谷市長の政治姿勢については「庁舎の会から声明文を受け取っていないのでコメントできない」としている。（小原健太）

高島市の下水道処理排水路に汚泥流出

市長が陳謝

高島市は三日、同市朽木野尻の下水道施設「市朽木浄化センター」からの浄化処理水が流れる農業排水路に汚泥が流出したと発表した。最終放流される安曇川までは到達してお

らず、水質などにはない。七月二十三日に、ンター南側の排水路除草作業中の住民が臭を感じて市に通報

調べたところ、百二にわたり汚泥の蓄を確認し、除去した市が関係職員に聴したところ、二〇一一年度から、浮遊物質（S）や生物化学的酸素要求量（BOD）が基準を超える汚水を認められた。砂ろ過設備の目詰まりなど機器の故障も重なり、排

量(BOD) (SS)など

向る汚水が同 恒常的に流入 処理能力を超え 処理していたこと 砂ろ過設備が は目詰まりを起 械設備の一部が 不全を起して 莫大な改修を實施 期にわたって放置 という。

住民投票条例、市議会で審議中...

「否決された」広報配布

近江八幡市が進める庁舎 整備計画の是非を問う住民 投票条例案を市議会が審議 していた7月28日、「(条 例案は)否決された」とす る富士谷英正市長のコラム を掲載した市広報8月1日 号が一部に配布されていた

近江八幡市

ことが3日までに分かっ た。

市秘書広報課によると、 28日午前中に印刷会社から 市内10学区のコミュニティ センターに配送され、その 後、沖島と武佐地域を除く 自治会長150人に届けら

を出す必要がある」と指摘した。

高島市議会は3日、臨時

高島市会 する条例が6月に成立した のを受けて提案した。庁舎

庁舎の建設した上、安曇川支所

住民グループ抗議 「先に結果書いている」

れた。市議会が賛成少数で 否決した同日午後7時頃よ り前に、一部市民が受け取 った可能性があるという。 有権者8118人の署名 とともに条例制定を直接請 求した住民グループ「市民 が考える庁舎の会」(小西 理代表)は3日、「条例案 を本格的に議論する前に結 果を平気で書いている。市 長の独善的な政治姿勢が端 的に表れた行為」とする抗 議声明を発表した。

同課は同日、「配送を翌 日に遅らせるなど指示すべ きだった。深く反省し、お わび致します」とコメント した。

(森敏之)

庁舎整 階建ての 面積約4 本館(同) を改修す は新館増築 うものだよ 健康食 肝障害 過去 国民生 日、健康食 で薬物性肝 の情報が、 年で9件寄 かにした。 健康食品 各製品

に

原稿される
大たち、県庁



「否決」コラム 議決前に配布

近江八幡市長の予定原稿

近江八幡市の市庁舎建設計画の是非を問う住民投票条例案をめぐる、案が市議会で否決された7月28日夜より前に、「否決された」とする富士谷英正市長の文を掲載した広報紙が、一部地域で配られていたことが市などへの取材でわかった。条例制定を求めている「市民が考える庁舎の会」は3日、「議会軽視、市民軽視の独善的な政治姿勢にほかならない」とする抗議声明を出した。

市などによると、文章は、市広報紙8月1日号に掲載された市長の巻頭コラム「馳走」。「先月の28日、(中略)住民投票条例の制定を求めた本請求が賛成少数で否決されました」と書いた。原稿の締め切り

が7月20日で、予定原稿として書いたとしている。同号は28日午前各地区コミュニティセンターに配送されて各戸に届けられる予定だった。市側は議決前の配布になると気付き、配布停止をセンターなどに連絡したが、一部で間に合わなかったとしている。

28日にこれを読んだ市民(67)は「まだ決まっていなのに、なぜ否決と書くのか。議会を無視していておかしい」と話した。発行を担当する秘書広報課の今井良治課長は「配送を遅らせるか、翌日配布を指示すべきだった」としたが「予定原稿を書くことはこれまでもあった。私の勇み足で市長の責任ではない」と手続き上のミスを強調

した。4日付で警察庁へ異動する県警の渡辺国佳本部長(50)が3日、県警本部で離任会見した。勤務した約1年4カ月を振り返り、「幅広い県民の皆様に多大なるご支援をいただき、感謝している」と述べた。今後の課題について語る中で、警察官と職員数に言及。県警によると、県警の警察官1人当たりの人口負担率は全国2位で、全国平均に近づけるには約6000人少ない。職員数についても、人口約80万人程度その他県警と同水準だという。渡辺本部長は「引き継ぎ外部との連携・協力を深めてい

「抗議については「説明内容が届けられておらず、市長もコメントのしようがない」としている。(同前掲)

渡辺県警本部長 離任会見で感謝

4日付で警察庁へ異動する県警の渡辺国佳本部長(50)が3日、県警本部で離任会見した。勤務した約1年4カ月を振り返り、「幅広い県民の皆様に多大なるご支援をいただき、感謝している」と述べた。今後の課題について語る中で、警察官と職員数に言及。県警によると、県警の警察官1人当たりの人口負担率は全国2位で、全国平均に近づけるには約6000人少ない。職員数についても、人口約80万人程度その他県警と同水準だという。渡辺本部長は「引き継ぎ外部との連携・協力を深めてい

くことだ。また、欺被書の1、D、増加し、え、(、)が、後、部長の期待し、警察に就く

津市錦... 後9時... 無職田... 道を渡... にはね... て病院... 確認さ... 都市... 格登... 処罰... 疑い... 致死

近江八幡

近江八幡市は3日、広報誌「おうみはちまん」8月号で、議会の議決結果を採決前に断じて伝えるミスがあったと発表した。富士谷英正市長がコラム「馳走」で「先月の7月28日、住民投票条例の制定請求が否決された」としたが、実際に裁決された28日午後7時より前に一部世帯に配布された可能性があるという。市秘書広報課は「取り扱いに慎重さを欠いた」と陳謝

住民投票条例めぐり

広報誌は約3万部を発行し、今回は発行日の8月1日以降に各世帯に届ける予定だった。通常は発行日の3日前までに配布起点となる市内の各コミュニティセンターに配達するが、今回は休日を挟むため繰り上げられ、業者が28日午前中に配達を完了した。

条例制定を請求した「市民が考える庁舎の会」は3日、「怒りを抑えることができない」との抗議声明を発表した。

【富士谷次郎】

審議中に「否決」と広報紙配布 滋賀・近江八幡市

8/3(木) 22:40 配信



滋賀県近江八幡市が進める庁舎整備計画の是非を問う住民投票条例案を市議会が審議していた7月28日、「(条例案は) 否決された」とする富士谷英正市長のコラムを掲載した市広報8月1日号が一部に配布されていたことが3日までに分かった。

市秘書広報課によると、28日午前中に印刷会社から市内10学区のコミュニティセンターに配送され、その後、沖島と武佐地域を除く自治会長150人に届けられた。市議会が賛成少数で否決した同日午後7時頃より前に、一部市民が受け取った可能性があるという。

有権者8118人の署名とともに条例制定を直接請求した住民グループ「市民が考える庁舎の会」(小西理代表)は3日、「条例案を本格的に議論する前に結果を平気で書いている。市長の独善的な政治姿勢が端的に表れた行為」とする抗議声明を発表した。

同課は同日、「配送を翌日に遅らせるなど指示すべきだった。深く反省し、おわび致します」とコメントした。

【関連記事】

- 「高すぎる」新市庁舎、シンポであり方を問う 滋賀・近江八幡
- 市庁舎是非問う住民投票条例を直接請求 滋賀・近江八幡
- 「八幡靴」復活の兆し ふるさと納税契機に注文増加
- ブルーギル1千匹、親子ら駆除 滋賀・八幡堀で釣り大会
- さらば「日本一」鉄道レイアウト、来月閉店 滋賀、国鉄型ずらり

NHK WEB ニュース

- 市長が議決前に「否決」明記
- 08月04日 16時28分
-
- 近江八幡市で先月、否決された新しい庁舎の建設の賛否を問う住民投票条例案めぐり、この議決の少なくとも8日以上前に富士谷英正市長が市の広報誌の原稿に「否決された」と書き込んでいたことがわかりました。
- 近江八幡市では、市役所の新しい庁舎の建設計画に対し、市民グループが「費用が高すぎるため賛否を問うべきだ」として住民投票の実施を求めています。
- 先月28日の夜に行われた市議会の採決で、投票を行うための住民投票条例案は反対多数で否決されましたが、これより数時間前に一部の地域に届けられていた市の広報誌に、富士谷英正市長が「住民投票条例の制定を求めた本請求が賛成少数で否決されました」とコラムで書いていました。
- これまでに「議決前に結果を掲載するのはいかがなものか」という内容の抗議が3件あったということです。
- 市によりますと、富士谷市長はこの原稿を締め切り日の先月20日より前に書いていたということで、市民グループは「議論する前に結果を平気で書いていることは議会軽視、市民軽視だ」という抗議声明を出しました。

- 秘書広報課は「これまでも市長の判断で市議会の議決の前に結果を見越した原稿を書くことはあった。議会や市民の軽視にはあたらない」としています。